

科目名	映像音響 2							年度	2025
英語科目名	Audiovisual 2							学期	後期
学科・学年	音響芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	瀧口裕正	教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア		
【科目の目的】 動画制作を行いながら作品制作への応用力を身につける。レコーディングスタジオ・MAスタジオ・ビデオ編集室等のポストプロダクションで求められる知識・技術を身につけることにより就職活動・研修・現場で役に立つ実践的な内容を理解すること。									
【科目の概要】 PowerPoint・Premiere Pro等のアプリケーションを使用し、作品制作も行いながら、映像制作に必要な実践的技術を身につける。課題をGoogleフォームにより提出することにより、作品の書き出し・変換・アップロード等のスキルも身につける。資料はPDFで配布し確認、復習のため毎回ポイントをまとめて提出する。									
【到達目標】 A. PowerPointでスライドを制作し、静止画から動画に書き出しができる。 B. Premiere Proにおける編集の基本操作ができ、映像編集の基礎を理解できる。 C. Premiere Proにおける編集編集の応用ができ、作品制作ができる。									
【授業の注意点】 作品制作等の作業を行いながら授業が進むので、欠席すると作業が滞ってしまう可能性がある。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	PowerPointで設定した時間で動画制作エクスポートができる。	PowerPointのスライドにアニメーションが設定できる。	PowerPointでレイヤー構造のスライドが作成できる。	PowerPointから画像ファイルにエクスポートできない。	PowerPointの基本操作ができない。				
到達目標 B	Premiere Pro編集した動画を、動画ファイルに書き出せる。	Premiere Proでカット編集ができる。	Premiere Proで素材の読み込みができる。	Premiere Proでプロジェクトを作成できない。	作業用のフォルダを作り、素材等の管理ができない。				
到達目標 C	Premiere Proで書き出しの設定ができる。	Premiere Proでシーケンス設定ができる。	Premiere Proでキーフレーム等を使用した作品制作ができる。	Premiere Proでエフェクトのパラメーターを設定できない。	Premiere Proでエフェクトがかけられない。				
【教科書】 音響映像設備マニュアル（2023年改訂版）									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

